

北海校校友会 (事務局:北海高等学校内)

〒062-8601 札幌市豊平区旭町4丁目1-41 TEL 011-841-1161(代) FAX 011-824-5519  
http://www.hokkaikouyu.com 編集責任者/広報・名簿部長 松岡 樹雄(高校29期)



## 北海校校友だより

平成29年度 2017.11.10

第58号

ism(イズム)意=主義・主張「持論を強く持っている」  
北海生が心の内に秘めている誇り、「北海魂」「北海プライド」「スピリット」などの総称として、新校友だよりのタイトルに採用させていただきました。

# 夢を重ねて スタンド轟く歓声を再び



写真提供/道新スポーツ

## 第99回 全国高等学校野球選手権大会 3年連続甲子園出場

今年の南北北海道大会決勝戦は、東海大学付属札幌高等学校に初回から連打され5点ビハインドで始まった。立ち上がりから、重苦しい空気が流れる中、選手たちには焦る様子もなく淡々と北海野球を貫いた。

基本的な野球で派手さはないが、単打でしぶとくつなぎ点を重ね、追い詰めていく「北海野球全開」の試合巧者で5点差をひっくり返しての優勝。  
歓喜に沸く先発メンバーの背番号を見



8月8日(火)第99回夏の甲子園大会が開幕。大会5日、8月12日(土)第3試合兵庫県160校の代表「神戸国際大学附属高等学校」との対戦。昨年の準Vが蘇る中、相手校は甲子園出場回数2回ながら、強豪「明石商業」を決勝戦で破り、駒を進めてきた。



そんな強豪を相手に先制点をあげたのは「北海」であった。中盤まで投手戦の様相を見せていたものの、「神戸国際」の6番バッターに2打席連続のホームランを浴びて4対5。卒業生4万人のため息が聞こえた惜敗であった。卒業生や野球部OBの思いを身に背負い戦ってくれた北海高校硬式野球部。試合終了後に甲子園の土をかき集め、涙している後輩の姿は誇らしく、とても印象深いシーンであった。



昨年の甲子園決勝戦の応援からあつという間の全道大会出場でしたが、準決勝から続いた全校応援、決勝戦後に応援に完璧に負けたと東海の友人から聞き、確かに生徒達は元気一杯だった。後にネットで話題の「アゲアゲホイホイ」の画像を見てみると、生徒達や先生方と保護者が一体となり、あまりの迫力に鳥肌が立ちました。間違い無く相手チーム

の勢いを止め、初回からの5点差逆転を後押ししたと感じました。  
甲子園初戦は対地元チームの為、球場内は完全アウト状況の中、私を含めOB、OG、保護者、生徒と



声を出し尽くし応援しましたが惜敗という結果に終わりました。  
勝負には負けましたが、選手、生徒共に全校応援での躍動感、甲子園での連帯感があり教育の「環」として新しい応援スタイルの可能性を感じました。野球部の活躍と共に北海高校の素晴らしさを全国に知らしめたと思います。  
校友会広報名簿部  
菅原 一三(高校29期)

第10回大会 開幕始球式  
写真提供/朝日新聞社



「始球式に立ち会う北海中」



「1塁側北海中」

第10回大会  
両チーム挨拶  
写真提供/朝日新聞社

## 記憶に残る 三連覇と応援

来年、甲子園大会は100回記念大会を迎える。1924年(大正13年)に今の阪神甲子園球場に開催場所が移され開幕するようになって93年。甲子園球場は高校野球の聖地となり、夏の代名詞となった。その長い歴史の始まりで記念すべき開幕第1試合が「北海中 vs 静岡中」から始まり記念すべき初勝利を挙げたチームも「北海高一」であった。  
2018年夏の大会は節目の大会となる。北海高校硬式野球部は4年連続39回目の出場を目指す。93年前の勝利を胸に100年記念大会の決勝戦で、先輩方が抱いた全国制覇の夢を現実のものにし、「真紅の優勝旗」をぜひとも学校に掲げてもらいたい。  
校友会広報名簿部  
清川 澄人(高校35期)

### 1924年(大正13年)北海中vs静岡中

対戦校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
静岡中	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
北海中	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	1	5

延長12回 サヨナラ勝ち 静岡 投手/吉田・北海 投手/手島



# 校友会広報部に寄せられたお手紙は、とても嬉しいものでした。北海魂と伝統、その礎を築き上げていただいた大先輩に感謝と敬意を払い、お元気なお姿をご紹介します。

## 新出 忠治さん

●北中43期卒業 ●兵庫県在住



### キズナ

定年退職一年目の秋、苦業を共にし協力し合い勤めあげた35年間の御礼として北海道旅行を計画、函館・札幌・富良野 遊覧旅行を計画、妻と共にツアー参加を申込んだものである。そしてある日、出発し2日目札幌の宿舎ススキノの近くのホテルに1泊時、早速電話帳で旧友を検索該当者があらず、途方にふていたが今一度と悪戦苦闘してやっと1件応答者が出たものである。その時の嬉しさ根強く諦めなかった北海魂の発露やに思います。

その後、この出会いが大きく成長、西日本支部の存在、特に野球関係で校名を上げ頑張っている後輩を見聞きすれば、よしまだ頑張ろうとの生甲斐が生じると同時に、友人知人の情は何物にもかえがたいものだとつくづく感じるものである。

その私も、今年で88歳。今少し永生きし友達を大切に良い思い出を作り頑張っていくつもりでありますので、よろしくお祈りします。皆様健康を祝して頑張ろう。

## 阿部 守さん

●北中41期卒業 ●帯広市在住



### 今も残る北海魂

昭和20年3月、軍隊式で卒業式をしたことが目に浮かびます。北海校仕込みの「自由・明朗・闊達」の紀風さながら学校運営に携わってきた自分に誇りと自負を感じております。現在は、いくつかの地域ボランティアのお手伝いと、年相応に静隠の日々を送っております。

夏の甲子園準優勝に感動し、北海健児の一層の頑張りに期待すること大であります。

母校の繁栄と校友、後輩の皆様のみますますのご健勝を祈り近況報告といたします。

## 古屋 陽さん

●北中41期卒業 ●音更町在住

### 現在の私

昭和18年在学中、軍隊に入った都合で、一昨昨年69年越しの卒業証書を頂き大感謝いたしました。有難うございました。90歳台近い私ですが、昨今高齢者ドライバーの件が話題になりますが、私としては素直に聞けません。私は50歳で免許取得しましたが、当初から

1. 人を殺めることは絶対にゆるされない。
2. 自分も死にたくない。

の2点を守り安全運転に努めています。あと1、2年は家内の病院通い、買い物に勤める覚悟です。支部会合には欠席気味で申し訳なく思っています。

北海校校友会の発展を祈ります。

## 遠藤 安知さん

●北中44期卒業 ●札幌市在住



### 心に刻まれた想い

八十路の峠を越し、後期高齢の境を歩む日々心に刻まれた「戦中派の生活」が脳裏に戻る。昭和18年春に国民学校を卒業し、志望した北海中学校に入学、とても嬉しかった。時が大東亜戦争時であった、星の校章を付けた戦闘帽を頭にし、カーキ色・国防色の制服を身にし、脚にはゲートルを巻き登校する姿は正に軍人兵士であった。校舎は今、開拓歴史村に建立してある旧北海中学校舎であった今も校庭に在る浅羽校長胸像や行啓碑を拜しての日々は、懐かしいかぎりである。入学の年は国家が更なる戦意高揚と勤労戦は動員を求め、「学徒総動員令」を発した時で吾等が北海中学校は「文武両道を貫く北海健児」を学訓とし、更に授業の一つであった軍事教練では「戦陣訓」を魂にしていたので、これをまとめ強調すると当時の学生生活は「戦中派生活」で限りがなかった。

吾等44期生の中学5年間の学校生活は1年・2年・3年の生活はほとんど戦争中で勤労動員・援農作業・軍事動員等で厳しい終始であった。敗戦終戦後の4年・5年生の2年に亘るの学校生活では、国土の復興に傾ける奉賛活動に参加、海外より引き揚げる者支援の「在外同胞救助学生同盟」の学校参加もその一つである。中学44期の私達と共に先輩の活躍もあり頑張ったのです。こうした限りない力は、当時に校長であった戸津高知先生が日頃語った「路端に咲くタンポポになれ！」の心が私達の精神を培ったからと想う次第です。

平成29年5月16日  
北海校校友会 事務局 申  
中学40期生 園田統一

謹啓 盛春の朔 母校益々ご発展にて何れもお慶び申し上げます。  
故に早速本題に入らせて頂きます。  
私事になりますが、母校北海校の同期生と卒業以来70年に亘り、交通上或いは同会を重なり互いに励み合ってきましたが、先に寺井君(根室)が亡くなり、残った久慈君と露の幹君が最近相次いで亡くなり、小生しばしば茫然自失の能く、母校との距離も薄れつつあるのが現実でございます。  
そこで、お願いですが、校友会誌(年刊)を見れば私より先輩諸氏が各地にお元気な活躍されている様子を数見しおいて、これら先輩の人生、生活の様子、信条、此の記者「人紹介」の一頁を是非加えて頂かせないでしょうか？  
身近な先輩を目標に、自分達も生きる勇気が

## 園田 統一さん

●北中40期卒業 ●新潟県在住



湧いてきます。  
因みに小生も卒業後は終戦後の人生の迷い、又心身共に色期が過ぎましたが、校友の励みや、母校の「不屈不撓」の精神と切り替わってきました。  
これからはもう親友は居りませんが、この校友会のメンバーの先輩の姿を生きとしるべき大空を目指して行くことを検討し、手前勝手なお願いに御祈りのほどお願い申し上げます。  
先輩の母校の益々のご発展を祈念申し上げます。  
敬具

追伸  
誠に少額ですが、お礼状を本日寄付を振り込ませて頂きました。  
又校友会 北陸信越支部が出来れば強い限りが、夢ですね。

# 校友会二人の先達

## — 哲明さんと康太郎さん —

校友会顧問・前校長 北明 邦雄



哲明さん(右)と私

今年に入ってから私達は二人の先達を失った。一人は中学43期の佐々木哲明さん、もう一人は高校1期の神康太郎さんである。身近な人たちはテツメイさん、コウタロウさんと親しみを込めて呼んで、しくなられたのはそれぞれ1月20日と3月11日である。



康太郎さん

哲明さんは北中を出て美唄の炭鉱に就職、その後大阪の「樺本チエン」に勤めた。長く校友会の西日本支部長をされていた。野球部が甲子園に出場した際には関西圏の卒業生に声をかけて応援に駆けつけ、同行した学校関係者を歓待してくれた。記憶力がよく話が生きいきとしておもしろかった。私は教職員らと一緒に哲明さんの話をお聞きし、戦中から戦後にかけての旧制中学校最後の頃の貴重な証言として生徒会誌にまとめたことがある。奥様が亡くなられた後しばらくして哲明さんは札幌

へ越された。哲明さんのもとでも柔道部だったが、戦後柔道、剣道が禁止されたため相撲部に移った。その力は全国個人戦でも3位に入るといった。私が、北海相撲部の88年を本にまとめベツドに寝ている哲明さんのところにお持ちしたときは感無量の面持ちで喜んで下さった。そしていつも話は母校の先生のこと、野球部のこと、及んだ。哲明さんほどごまごも北海の卒業生であった。なお退職後多額の志を学校と校友会に寄付されたことを改めてここに記しておきたい。

康太郎さんは校友会の元副会長である。北海高校を出て北大に進み、自営の仕事の傍ら請われて「お菓子の三八」に役員として勤められた。初めて私が卒業生を出した時一人の生徒を同社に採用してくれた。校友のありがたさを感じたものである。開校100周年の時、母校と校友会を限りなく愛し、その発展のために貢献されたお二人に心から感謝を申し上げ、ご冥福をお祈りしたい。

## 新任挨拶

### 立島 達直(高校61期)



今年度より、保健体育の専任教諭として着任いたしました。出身は滝川市、高校は北海高校へ進学し硬式野球部に所属していました。3年生の夏に目標であった甲子園に出場することができました。その後、東洋大学に進学し、野球を続けてきました。卒業後は北海学園の事務職員を2年間、北海高校の嘱託教諭として2年間務めさせていただきました。その間、北海高校硬式野球部のコーチも務め、今年度より野球部部長を務めさせていただきます。母校の教壇に立てることを誇りに思い、生徒とともに歩んでいこうと思っております。



会長挨拶

「文武両道」が結実

北海校校友会第十代会長 金井重雄

校友会員の皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。日頃より会員の皆様方には校友会活動におきまして、ご理解・ご協力を頂き心より感謝と御礼を申し上げます。

また、新体操部・陸上部(各種目)・柔道部(男女ペア)が全国大会出場を果たしており、文化系では写真部・新聞部が全国大会に進み、その中で写真部の3年生小林紀衣さんが最優秀賞及び文化庁長官賞に決まりました。ご本人の努力は勿論の事、秋山顧問(高校35期)そして学校関係者の方々の教育実践「文武両道」が素晴らしい結果に結びついています。心より敬意を表しお喜び申し上げます。

今夏、硬式野球部が、夏の北海道大会3連覇と夏の甲子園38回全国最多出場を果たしました。3年連続出場は戦後72年にして初であり、昨年に引き続き北海野球史に新たな歴史が刻まれたわけですが、全国の校友の皆様には、スタンドへ駆けつけ応援して頂きました事、そして甲子園派遣募金等への多大なるご厚情ご支援に、校友会を代表し重ねて御礼申し上げます。甲子園での初戦を勝利することは出来ませんでしたが一勝をあげる事が如何に難しいかを改めて味わった大会でもありません。今回の戦いから教訓を学び、いつか必ず深紅の優勝旗

OB・OGの方が中心となる校友会の時代がやって参ります。(初代共学期は54期その現実を受け止めて我々は校友会活動を進めて行かなければなりません。

校友会は、各期の同期会と各支部の集合体で成り立っております。校友会を確立し維持して行くのは、我々卒業生の義務であり責任です。親愛なる在校生の爲にも、どうか校友会活動に今まで以上のご尽力とご協力を頂き、母校北海を支えられる校友会を目指して積極的に参加を切にお願い申し上げます。

校友会には、常日頃、さまざまな形で北海高校を支えていただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで、北海高校は、生徒がそれぞれの個性を磨きながら、活気に満ちた雰囲気の中で132年目の歴史を刻んでおります。

とりわけ、この夏には硬式野球部が、戦後初となる3年連続夏の甲子園大会出場(全国最多38回目)を果たすことができました。誠に残念ながら惜敗し、甲子園に流れずでしたが、最後まで自分たちの野球を貫き通しての真摯な戦いぶり、高校野球らしい爽やかさと、北海野球の確かさを感じさせてくれたものでした。野球部の健闘にあたためて賛辞を贈りたいと思います。南北海道大会における本校の全校応援の一体感が大きな反響を呼んだ

この間、本当にありがとうございました。長い間、本当にありがとうございました。

また、8月に宮城県仙台市で開催された全国高等学校総合文化祭写真部部門では、写真部の小林紀衣さんが最優秀賞ならびに文化庁長官賞を受賞しました。昨年、弁論部・中川梨花さんが最優秀賞(文部科学大臣賞)を受賞したのに引き続き、この快挙です。写真部は全国大会の常連で、その実力は高く評価されていまして、が最優秀賞受賞は初めての事です。そのほか、この夏には柔道部・陸上部男子テニス部・新体操部がインターハイ全国大会、アイスホッケー部が全国選抜大会に出場、新聞部が全国高総文祭に参加しました。今年もまた、文武両道にわたる北海生の活躍が続いています。

また、北海道出身の偉大な作家・子母澤寛(明治44年北中卒、厚田出身)を顕彰して、石狩市の人々によって子母澤寛文学賞が創設され、その第回の表彰式と記念シンポジウムが8月27日(日)に行われました。私も出席してまいりましたが、田岡石狩市長はじめOBの方々もご列席の中、子母澤寛の業績に再び光が当てられたことを心から嬉しく思います。

学校は後期に入り、3年生は進路決定のための大切な時期を迎えています。今春はSクラスを新設するなど進学指導体制を強化して初めての卒業生を送り出しましたが、お陰様で京大、北大、札医大、慶大、早大、上智大など難関大学にも多くの合格者をだすことができました。今後、なおいっそう学習の量と質の両面でグレードアップを図って生徒の学力向上に努めたいと考えています。

また、カナダL.C.I.高校に代わって、新たに「ユージラド・ウエリントン」高校との交流が開始されました。早速4月にウエリントン高校の生徒3人が来札し、本校生徒の家にホームステイしたり、本校の学校生活を体験したりして交流を深めました。来秋には、本校生徒が「ユージラド」を訪問することになります。ウエリントン高校との交流は、カナダ・ブロッグ大学語学研修と並んで、本校の国際教育・国際交流の大きな柱となっています。

以上、学校の近況をお知らせしましたが、校友諸氏には今後とも変わらぬお力添えをお願い申し上げます。末筆ながら、北海校校友会の益々の発展と、校友諸氏のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。



校長 山崎省一

北海スピリット  
個性を磨き輝かせる



今年、69期生として男子238名、女子180名、総数418名が新たな校友会員として入会頂き、これ本校卒業生総数39、688名となりました。また、入学者数は455名で入学期は72期でございます。15年後には、校友の集いの幹事を迎える共学世代の

健全な運営・維持(会費等のあり方)実績：入会金及び終身会費は母校の卒業時に納入して頂き運営協力金及び寄付金は毎年会員の方々の善意を尊重し広くご協力をお願いする事と致しました。

会員の確立(同期会および各支部の活性化)実績：新支部の設置(東北支部・オホーツク支部・後志支部・小樽支部(再活動)各支部の総会・懇親会などに積極的に出席し、本部の意向を伝えるコミュニケーションを図り支部活性化の為に意見交換をする。

校友会組織の拡大(運動部・文化部・OB・OGの部会)実績：本会の組織として応援団OB会(新設)・陸上部OB・OG会(既存より申込)・陸上ホッケー部OB会(一部OB会)

〈校友会発展に向けた  
会長としての方針〉

【我心】獅子となり 虎となりても 北海の益荒男ぶりも 星のまにまに

平成28年度校友会会長方針の実績報告

●平成28年10月16日仙台にて「第8回土井晩翠先生が作詞した校歌と一緒に歌いましょうの会」に、わたくしをはじめ応援団OB会他有志数名が、北海校として初めて参加する事ができ、日本一の校歌を多くの他校の方々に聴いて頂き、会場からは割れんばかりの歓声と拍手を頂戴しました。その際に大きな役割と影響を与えたのが、応援団OB会4名の学生服・学帽という当時の出で立ち、リーダー先導のエールと団旗掲揚、そして太鼓の響きでした。

●平成28年12月21日終業式の中で、夏の甲子園準優勝という本校創立131年で初めての成績を挙げた硬式野球部の選手ならびに裏方で支えてくれた3年生、弁論大会において全国最優秀賞である文部科学大臣を受賞した3年生の中川梨花さんに、初めての試みでしたが校友会より記念品を授与致しました。この式典事は、全校生徒の前で行われましたので、校友会の存在を大きく認識して頂けたと思っております。

退職ご挨拶

野田 郁夫



1979年、緊張して教壇に立った私の前に現れた生徒達、風体は大変なものでしたが、心意気のまっすぐなところに随分感心しました。きちんと語ると納得し行動してくれる男気のある生徒が多かったものです。男女共学となった今、生徒は当時と比べておとなしくなった気がします。しかし、その底流に流れているものはそんなに変わっていないのではないかと思います。理不尽なことには敏感に反応し、正義の心を持ち、多様な個性を認め合い、北海が大好き。

時代の流れの中で当然変わっていくものはありますが、それでもなお変わらずに流れている精神がある、それが北海の特徴なのだと思います。それは生徒だけではなく教師にとっても誇りです。この間、随分校友会の皆様には助けられてまいりました。長い間、本当にありがとうございました。

楠 文彦(高校25期)



昭和52年4月開学の北海学園北見大学(所在地:北見市)に勤務し(現在は札幌市にある北海商科大学に転勤)平成20年4月に北海高等学校へ転勤。平成29年3月に定年退職となり4月からは元の北海学園北見大学(現:学校法人北海学園北見校地)で勤務しております。当初、大学事務と高校事務の業務内容の違いがあり難しい状況で勤務しておりました。平成21年4月から事務長となり、校友会の事務局次長として8年間校友会事務局で微力ながら仕事をさせていただき大変お世話になりました。お礼申し上げます。

お陰様で高校25期の同期生や校友会の数多くの先輩・後輩にお会いすることができました。校友会事務局での貴重な経験が沢山できたことが良かったと思います。校友会は、長い歴史を積み重ねて来ています。これからもより良い校友会に発展できるよう応援しています。



# 高校37期 校友の集いお礼



北海道校友会 高校37期  
 実行委員長  
 植 浩 一

本年度、開催いたしました北海道校友会の集いにおきまして、多大なご支援、ご協力を賜り誠に有難うございました。お陰様をもちまして、無事に開催することができました。企画・運営上、無知



不慣れなところへ、金井会長はじめ校友会の方々そして諸先輩に支えて頂き誠に感謝申し上げます。また、北海道 山崎校長先生はじめ教職員・事務局・生徒の皆さんのご協力に重ねて感謝申し上げます。

本年度は「未来永劫」これからもずっとをテーマに我々高校37期は何度も協議を重ね、会場がひとつになれ集いを目指して取り組んでまいりました。

そんな中、野球部が第98回夏の甲子園 準優勝、弁論部が全国最優秀賞と素晴らしい結果を残してくれました。集いではこの輝かしい成績を皆で喜びを共有できる会になるよう企画し、余興では今の北海道に出来る新しい応援スタイルの提案として、北海学園大学チアリーダー部の皆様にご協力を頂き、応援リーダーとの息の合った応援スタイルを見て頂けたと思っております。

また運営上、大切な協賛

広告では多くの皆様へ、心良くご協力を頂き有難うございました。そして私達が一番不安だったのが集いの入場者数です、当日券のみでいったいどれほどの人が出席して頂けるのか不安を抱えたまま当日を迎えましたが、多くの皆様にお越し頂き盛大に開催することが出来ました。

結びになりますが、今後更なる北海道・並びにOB・OGの皆様の御活躍を祈念



致しまして校友の集いのお礼の言葉とさせていただきます。誠に有難うございました。

## 平成29年度 北海道校友会 校友の集い 【各期出席人数】

卒業期	出席数	卒業期	出席数	卒業期	出席数
中学41期	1	高校25期	8	高校50期	0
高校1期	3	高校26期	16	高校51期	2
高校2期	3	高校27期	15	高校52期	4
高校3期	0	高校28期	15	高校53期	1
高校4期	2	高校29期	21	高校54期	2
高校5期	1	高校30期	12	高校55期	2
高校6期	3	高校31期	10	高校56期	0
高校7期	4	高校32期	23	高校57期	0
高校8期	0	高校33期	4	高校58期	1
高校9期	0	高校34期	12	高校59期	0
高校10期	3	高校35期	25	高校60期	1
高校11期	12	高校36期	12	高校61期	2
高校12期	5	高校37期	53	高校62期	3
高校13期	1	高校38期	10	高校63期	1
高校14期	1	高校39期	10	高校64期	1
高校15期	2	高校40期	1	高校65期	1
高校16期	5	高校41期	10	高校66期	1
高校17期	2	高校42期	11	高校67期	0
高校18期	7	高校43期	4	高校68期	0
高校19期	2	高校44期	3	高校69期	0
高校20期	0	高校45期	5	教職員	13
高校21期	0	高校46期	22	招待	16
高校22期	6	高校47期	2	その他	11
高校23期	6	高校48期	8		
高校24期	2	高校49期	1	合計	446

## 「平成30年度校友の集い」のお誘い



北海道校友会  
 高校38期実行委員長  
 津 守 克 佳

「この度、歴史と伝統ある「校友の集い」実行委員長を仰せつかり、来る5月を目の前に、身の引き締まる思ひがわくわくします。

### 揺るぎなき伝統 変えられるものと変えられないもの

来年、創立133周年を迎える北海道を代表する我が母校北海道高校は、「質実剛健」「百折不撓」という建学以来の基本精神で、今もなおその名を全国にどうにかさせていることは、我々の誇りでございます。

今回のテーマは「揺るぎなき伝統 変えられるものと変えられないもの」とし、様式化された伝統の継承ではなく、真の伝統「北海道」を継承し続ける

こと、また基本精神を継承し続けることが、目まぐるしく変化するこの時代の中で、必要なことであると思ひテーマといたしました。

是非とも、この「校友の集い」に一人でも多くの皆様にご参加いただき、揺るぎなき伝統を感じていただけたら幸いです。

また、今年38期以降の卒業生の参加が、この校友会を盛りたてる原動力となります。誠心誠意努めてまいりますので、皆様お誘い合わせの上、多数のご参加、併せてご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

# 二〇二七年度 進路決定状況

進路指導部長 大森 和之

現役生 難関大学多数突破!

平成29年度 現役生徒 大学入試合格状況 ※4月18日現在

京都大学 1名 北海道大学 10名 (現役・浪人生合わせて11名)

旭川医科大学 2名 小樽商科大学 4名 北海道教育大学 10名 (現役・浪人生合わせて5名) (現役・浪人生合わせて11名)

首都東京大学 1名 弘前大学 8名 札幌医科大学 2名 ほか (現役・浪人生合わせて62名)

国公立大学 合計 52名 (現役・浪人生合わせて62名)

早稲田大学 4名 慶応大学 2名

上智大学 1名 東京理科大学 5名 明治大学 10名 同志社大学 5名 ほか

難関私立大学 合計 58名

北海学園大学 116名 北海商科大学 14名

昨年度入試における大学合格実績としては、国公立大学62名、道内私立大学に314名、また早慶上理・MARCH・関関同立といった道外難関私立に58名であった。全体的な特徴としては、国公立大学の現役合格率が83.8%(62名中52名)と高かったことが挙げられる。放課後遅くまで自習室等で熱心に自学自習に励む姿が多く見られたが、そのような姿勢が現役合格率の高さにつながったと考えられる。

また、昨年度は難関国公立大学等を目指すSクラスを設置し、特進コースを7時間授業とするなど、大きく改革をした完成年度であった。その甲斐あってか、特にSクラスの実績として京都大学1名、北海道大学8名合格するなど難関国公立大学の現役合格率は全国トップクラスの43.8%となった。また、国公立大学全体の現役合格率も81.21%中17名とこれも全国トップクラスの割合である。これは、生徒の努力のみならず、教員や保護者が力を合わせた結果といつても過言ではないだろう。

2018年度入試にむかっては、まさに今年3年生が自分の第1志望合格に向けて準備をしている最中である。昨年度の結果を上回る事ができるように進路指導部としても全力でサポートしていきたい。





### 男子バドミントン部

現在1・2年生部員16名で活動中です。今年度の高体連は、団体戦全道3位個人戦ベスト8で終わりました。しかしチーム内戦力レベルが全体的に上がり、5月の国体全道には4ペアが出場、高体連全道にも出場選手全員(D3S2)が全道出場を決めることができました。6月から新チームがスタートし、選抜大会・インターハイ全道3種目制覇と全国ベスト8を目標に練習しています。7月の北海道選手権では、

ブルス4ペアが全道出場し、さらに全道大会ではノースロードから第2・第3・第1シードを破り、野上大井ペアが優勝する快挙を成し遂げました。野上大井ペアは、全日本ジュニア北海道でも優勝し、9月の全国大会にも出場してきました。8月の全国私学大会では、4チーム中17位と健闘。中でも比叡山高校に3-1で勝つたのは大きな自信となり、全国で勝ちたいという今後の動機付けにもなりました。以前の北海道高校バドミントン部の栄光を再び取り戻せるように頑張っていきたいと思いますので、ご支援ご協力をお願い致します。

## 平成29年度 全国大会出場結果報告



国大会の結果については以下の通りです。

平成29年度 第70回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 7月29日(土)～8月2日(水)

山形県大崎市NDソフトスタジアム

### 陸上競技部

陸上競技部では、今年度も札幌支部予選(全道大会)を勝ち上がりインターハイに男女とも出場することができました。多くの方々の御支援とご協力のおかげで3年連続出場を果たすことができ、北海道内の出場高校の中でも多数の出場選手を持つ高校として、年々層北海高校陸上部は活気づいてきています。全

- 男子1000m 安田凌真(2年) 11秒00
- 男子4000m 梅内僚多郎(3年) 50秒06
- 男子1100mH 出口将也(2年) 15秒11
- 男子4x400mリレー 3分17秒69 藤村恒平(3年)、梅内僚多郎(3年)、大橋泰輝(2年)、安田凌真(2年)
- 女子4x100mリレー 49秒60 出雲莉里花(3年)、井上茉莉(2年)、元木瑞歩(1年)、武藤春愛(1年)

### 硬式野球部



今年度は1年生23人を加え総勢94人の部員となりました。夏の北海道大会では、決勝で東海大札幌に6対5で勝利し、北海道高校としては戦後初の北海道大会3連覇を達成することができました。そして3年連続全国最多38回目の出場となった甲子園大会では、兵庫代表の神戸国際大学附属高校と対戦し、4対5で敗れました。多くの皆様からご支援、ご声援を賜り本当にありがとうございました。

### 柔道部

8月8日から12日まで福島県郡山市郡山総合体育館で行われた全国高等学校総合体育大会に出場しました。

男子団体では、2回戦で前年度3位の埼玉栄高校と対戦し1-1の内容差で敗れましたが生徒一人ひとりが粘り強く戦うことができた。男子個人では100kg級に葛西純平(3年)が出場し2回戦で団体優勝校の桐蔭学園高校の選手に延長戦までもつれる接戦でしたが最後に攻めを返され惜しい敗退でした。



柔道部(男子)



柔道部(女子)

女子団体では、3回戦まで進み創志学園高校と対戦し1-2で敗退しましたが、ベスト16で来年につながる結果を残しました。女子個人では、63kg級岡菜里(3年)、78kg超級藪内美咲(2年)が共に

1回戦で敗退しました。今後は、新体制となり12月に行われる全道大会へ向けて新チームの強化に力を入れていきたいと思っております。ご支援とご協力ありがとうございました。

### 新体操部

今年度は1年生5名、2年生6名、3年生4名の計15名で活動しています。



新体操部

選手層が厚くなり、毎日、ライバル意識を高めながら練習してきました。6月の全道大会では、団体個人共に優勝を果し、8月10日～8月12日山形県山形市総合スポーツセンターで開催された「全国高等学校総合体育大会体操競技・新体操大会(インターハイ)」に団体戦フープ5(3年北川桃花、3年大畑絵里、3年三瓶千夏、2年千上柚月、2年野上菜月)個人戦フープリボン(2年白瀬由佳)が出場を果たしました。結果は、団体戦46チーム中17位(14・300)、個人戦48人中14位(22・950)でした。個人も団体も昨年の順位を大幅に上回ることができて、選手1人1人の実力を十分に発揮することができた実りある成果となりました。今後の日程は、10月1日(日)～10月2日(日)愛媛県総合運動公園体育館で開催される第72回国民体育大会新体操競技に出場、11月11日(土)～12日(日)に野幌総合運動公園体育館で行われる高体連全道選抜大会に出場します。優勝を決めて3月の全国大会に必ず出場を果たし、応援して頂いている皆さんに良い報告ができる様に努力していきます。応援、宜しくお願い致します。

### アイスホッケー部

8月2日から苫小牧市で行われた全国選抜大会に出場し、ベスト16という結果を残しました。1回戦は関西大学第二高校に12対0で勝利しました。2回戦は、道東の強豪校である釧路江南高校を相手に、バックボゼッションは優勢であったものの、少ないチャンスをもにされて、3-4で敗れました。敗れ

はしたものの、得意とするシステムホッケーで互角の戦いをする事ができ、今後につながるゲーム内容となりました。今後は、この大会優勝校である武修館高校をはじめ、白樺学園、駒大苫小牧など各地区の上位校を凌ぐチーム力をつけ、苫小牧で開催される全道大会、そして帯広市で行われるインターハイに向けて準備していきます。応援宜しくお願い致します。

### 写真部

第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文)写真部門に小林紀衣(3年)が出場し、最優秀賞並びに文化庁長官賞を受賞した。北海道勢としては3回目、本校としても初めての快挙となった。作品は本校の女子バスケットボール部の活動風景を撮ったもので、選手の真剣な目とボールを入れて迫力を出すという作品で、よく計算されたものとして高く評価された。撮影に協力していただいた女子バスケットボール部の皆さんにはもちろん、

## 最優秀賞・文化庁官長賞を受賞



「作品名:最後まで」 小林 紀衣(3年)

### 男子テニス部

部員27名でほぼ毎日活動しています。団体戦での全道制覇を最大の目標とし、顧問生徒丸となって厳しい練習をしています。今年度は8月に福島県で行われたインターハイに2年生の三上翔平が創部以来初となる出場を個人戦シングルスで果たすことができました。その予



今後はこの貴重な経験を胸に刻み、1回戦突破を目指し、さらなるステップに行けるよう、練習に励んでいきたいと思っております。

### 新聞局

新聞局は今春1年生10名を加え、9月現在22名3年生4名、2年生8名、1年生10名。

命を考える良い機会となった。今年夏休みに宮城県で開催された総合文化祭にも出場。全国高校新聞コンクール年間紙面賞にて優良賞を受賞した。10月には登別で行われる全道大会にも出場予定である。



全国総合文化祭会場前にて(左から堀川、千葉)



# 運動部の活動状況

## 男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は部員47名で、全国大会出場を目指し「百折不撓」の精神で練習に励んでいます。平成28年度全道新人大会で北海道ベスト8、高体連札幌地区予選では札幌地区3位の成績を残すことができました。これからも周囲の人たちへの感謝の気持ちを忘れず、チーム一丸となつて頑張っていきたいと思います。

## 女子バスケットボール部

女子バスケットボール部は全道大会出場を目指して活動しています。今年度の春季大会では接戦を制し2年ぶりにベスト8に返り咲くことができました。その後インターハイ地区予選を無事勝ち抜き、続く全道大会(函館)では、市立函館 旭川商業に勝利し、ベスト8。3回戦は海星学院とは力及ばず敗退となりましたが、集大成となる試合になりました。現在新チームは先輩に続けと生懸命練習しています。受け継いだシードを絶対に守り、目標を達成できるよう全員が全力で頑張ります。

## 卓球部

北海道卓球部は、現在男子8名、女子1名で活動しています。インターハイでは、男子団体全道ベスト16という結果を残し、その悔しさをばねに、全国出場という目標を掲げ、日々練習に取り組んでいます。練習には、たくさんOB、OGの方に来ていただき、現役生の指導をしていただいております。卓球部同感謝の気持ちを持ち続け、結果という形で恩返しをします。

## 女子バレーボール部

女子バレーボール部は、3年生5名、2年生9名、1年生9名の計23名で今年度スタートしました。全道大会に出場する！という強い気持ちをもって練習に励み、試合に挑みましたが、残念ながら負けました。

## 男子バレーボール部

9月に行われた春高札幌地区予選で優勝し、11月に野幌総合運動公園で行われた春高北海道予選への出場権を獲得しました。3年生にとつてはこれが高校最後の大会となります。インターハイ北海道予選では第4シードのチームとフルセットまでいきましたが、勝ち切ることができませんでした。あの時の悔しさを忘れずに残りの時間を過ごし、そして、今度こそはチームの目標である全道ベスト4を達成したいと思っています。

## 女子バドミントン部

女子バドミントン部は、3年生10名、2年生3名、1年生16名の部員が所属し、日々全道大会進出に向けて練習をしています。今年度は高体連札幌支部大会においてベスト7となり、昨年よりも順位を上げ、4年連続で全道大会に出場しました。

## 男子バドミントン部

年度末に美術部のどんぐり会展と併催している横星展校外展がだんだんと定着してきました。毎年、校友の皆様にもご来場いただき、作品をご覧いただけるとは大変励みになります。そのほかにも、高文連、北海道学生書道展を軸に各種展覧会に出品し研鑽に励んでいます。書作品の制作を通して自分の生き方と向き合い、深く生活を見直す目を養うことができると考えています。今後ともご支援よろしくお願い致します。

## 弓道部

弓道部は男女合わせて50人で活動しています。今年度は個人で3年生の伊熊と近藤が6月に札幌市で行われた高体連全道大会に出場しました。伊熊は残念ながら予選敗退でしたが、近藤は順調に的中を伸ばし決勝に進むことができました。また、3年生の山谷が7月に帯広市で行われた国民体育大会

## 女子テニス部

選手権支部予選の団体戦は、2回戦を勝ち、3回戦で7シードの札幌西と対戦しました。ダブルスで先勝し、シングルス2で勝負をかける作戦でした。ダブルスは競つたものの3-6で取られ、シングルス2はタイプレックの末取られ敗退しました。なお、個人シングルスとダブルスは道大会の出場を果たし

## 剣道部

高体連支部大会では、男子団体と男子個人2名が全道大会の出場権を獲得しました。全道大会では、団体は予選リーグを突破し決勝トーナメントに上がりましたが、ベスト8で終わりました。しかし、北海の剣道が認められ「敢闘賞」を頂きました。個人戦では1年生がベスト8となり活躍しました。これも偏に諸先輩方のご指導・ご支援のお蔭と感謝申し上げます。

## 水泳同好会

現在、男子2名、女子2名の計4名で、普段は各自が校外のスイミングクラブに所属して練習に励み、各種大会に出場しています。北海高校としての出場はインターハイのみですが、常に北海高校の選手であることに誇りを持って全力で競技に臨んでいます。今年度も4名全員が全道大会出場を果たしました。

## 吹奏楽局

今年度は、1年生31名、2年生17名、3年生13名の61名で活動しました。1年生が31人で、2、3年生の部員より多いという難しい状態で活動しました。今年度石狩地区高文連合同演奏会、学校祭、およびフラワーコンサート、吹奏楽コンクール、硬式野球応援と活動しました。3年連続甲子園での応援させていただきましたが、今年度はあげあげホイホイという新曲で応援を行い、全力で頑張りました。全校生徒が一丸となつて応援することができました。

## 放送局

私達、北海高校放送局の主な活動内容は、毎日の朝・昼放送と行事の撮影、音響の調整です。また、春に行われるNHK杯全国高校放送コンテストと秋に行われる高等学校文化連盟放送コンテストへの出場や、中学生やその保護者に向けての学校公開で放映される、学校紹介VTRの制作も行っています。これらの活動は、基本的に毎週木曜日の放送局会で連絡や計画を立てます。現在部員が7名と少人数ですが、その分皆仲が良く協力し合っています。これからも技術の向上を目指して頑張ります。

## 演劇部

演劇部は、3年生が7月の北海祭公演をもって引退し、現在は、2年生3名、1年生6名の計9名で活動しています。

## 国際交流部

今年度の活動としては、まず4月にニュージニアランドのウエリントン高校から1週間の短期交流生が来札し、記念すべき第1回の生徒交流会を行いました。日本の文化年間行事や、北海高校の生活について、パワーポイントを用いて英語でプレゼンをし、日本の伝統的な遊びを紹介したり、おにぎりや置コインスター作り、更には書道の授業などに挑戦してもらいました。また、放課後には学校内を案内し、各部活動の見学や参加をしました。最後に浴衣の試着してもらい、部員達にとつても思い出に残る交流会になりました。

## 文芸部

北海文芸部は、石狩支部大会を経て、岩見沢で開催された第15回全道文芸コンクールに、部誌部門、詩部門1名、俳句部門2名がエントリーしました。

## 合唱部

合唱部は、8月9日に開催されたNHK全国音楽コンクールの札幌地区大会に、北海道科学大学高校合唱部と出場し金賞を受賞。全道大会に進出し、全国大会まであと一歩である銀賞を獲得することができました。

## 美術部

美術部の活動は、秋の「有島武郎青少年公募絵画展」「学生美術全道展」の出品を目指して活動しています。いずれも目標は上位入賞で

# 文化部の活動状況

## 書道部

北海道予選会に中央地区代表として出場し、団体3位という結果を出しました。これらの大会で得た経験を活かし、今後部員一丸となつて頑張っていきたいと思っています。

## 合同出場

この壁が、北海道予選会に中央地区代表として出場し、団体3位という結果を出しました。これらの大会で得た経験を活かし、今後部員一丸となつて頑張っていきたいと思っています。

## 合同出場

この壁が、北海道予選会に中央地区代表として出場し、団体3位という結果を出しました。これらの大会で得た経験を活かし、今後部員一丸となつて頑張っていきたいと思っています。

## 書道部

年度末に美術部のどんぐり会展と併催している横星展校外展がだんだんと定着してきました。毎年、校友の皆様にもご来場いただき、作品をご覧いただけるとは大変励みになります。そのほかにも、高文連、北海道学生書道展を軸に各種展覧会に出品し研鑽に励んでいます。書作品の制作を通して自分の生き方と向き合い、深く生活を見直す目を養うことができると考えています。今後ともご支援よろしくお願い致します。

## 美術部

美術部の活動は、秋の「有島武郎青少年公募絵画展」「学生美術全道展」の出品を目指して活動しています。いずれも目標は上位入賞で

## 合唱部

合唱部は、8月9日に開催されたNHK全国音楽コンクールの札幌地区大会に、北海道科学大学高校合唱部と出場し金賞を受賞。全道大会に進出し、全国大会まであと一歩である銀賞を獲得することができました。

## 文芸部

北海文芸部は、石狩支部大会を経て、岩見沢で開催された第15回全道文芸コンクールに、部誌部門、詩部門1名、俳句部門2名がエントリーしました。

## 国際交流部

今年度の活動としては、まず4月にニュージニアランドのウエリントン高校から1週間の短期交流生が来札し、記念すべき第1回の生徒交流会を行いました。日本の文化年間行事や、北海高校の生活について、パワーポイントを用いて英語でプレゼンをし、日本の伝統的な遊びを紹介したり、おにぎりや置コインスター作り、更には書道の授業などに挑戦してもらいました。また、放課後には学校内を案内し、各部活動の見学や参加をしました。最後に浴衣の試着してもらい、部員達にとつても思い出に残る交流会になりました。

## 演劇部

演劇部は、3年生が7月の北海祭公演をもって引退し、現在は、2年生3名、1年生6名の計9名で活動しています。

## 合同出場

この壁が、北海道予選会に中央地区代表として出場し、団体3位という結果を出しました。これらの大会で得た経験を活かし、今後部員一丸となつて頑張っていきたいと思っています。

## 書道部

年度末に美術部のどんぐり会展と併催している横星展校外展がだんだんと定着してきました。毎年、校友の皆様にもご来場いただき、作品をご覧いただけるとは大変励みになります。そのほかにも、高文連、北海道学生書道展を軸に各種展覧会に出品し研鑽に励んでいます。書作品の制作を通して自分の生き方と向き合い、深く生活を見直す目を養うことができると考えています。今後ともご支援よろしくお願い致します。

## 美術部

美術部の活動は、秋の「有島武郎青少年公募絵画展」「学生美術全道展」の出品を目指して活動しています。いずれも目標は上位入賞で

## 合唱部

合唱部は、8月9日に開催されたNHK全国音楽コンクールの札幌地区大会に、北海道科学大学高校合唱部と出場し金賞を受賞。全道大会に進出し、全国大会まであと一歩である銀賞を獲得することができました。

## 文芸部

北海文芸部は、石狩支部大会を経て、岩見沢で開催された第15回全道文芸コンクールに、部誌部門、詩部門1名、俳句部門2名がエントリーしました。

## 国際交流部

今年度の活動としては、まず4月にニュージニアランドのウエリントン高校から1週間の短期交流生が来札し、記念すべき第1回の生徒交流会を行いました。日本の文化年間行事や、北海高校の生活について、パワーポイントを用いて英語でプレゼンをし、日本の伝統的な遊びを紹介したり、おにぎりや置コインスター作り、更には書道の授業などに挑戦してもらいました。また、放課後には学校内を案内し、各部活動の見学や参加をしました。最後に浴衣の試着してもらい、部員達にとつても思い出に残る交流会になりました。

## 演劇部

演劇部は、3年生が7月の北海祭公演をもって引退し、現在は、2年生3名、1年生6名の計9名で活動しています。

## 合同出場

この壁が、北海道予選会に中央地区代表として出場し、団体3位という結果を出しました。これらの大会で得た経験を活かし、今後部員一丸となつて頑張っていきたいと思っています。

## 書道部

年度末に美術部のどんぐり会展と併催している横星展校外展がだんだんと定着してきました。毎年、校友の皆様にもご来場いただき、作品をご覧いただけるとは大変励みになります。そのほかにも、高文連、北海道学生書道展を軸に各種展覧会に出品し研鑽に励んでいます。書作品の制作を通して自分の生き方と向き合い、深く生活を見直す目を養うことができると考えています。今後ともご支援よろしくお願い致します。

## 美術部

美術部の活動は、秋の「有島武郎青少年公募絵画展」「学生美術全道展」の出品を目指して活動しています。いずれも目標は上位入賞で



北海高等学校



# 支部・同期会 活動報告

## ホクテン会

2017年5月27日、18回目の東京ホクテン会を実施しました。開催場所は、毎年ほぼ固定しており「居酒屋・新宿北海道店」で毎年5月の第4土曜日に予定して実施している。今年は、まず乾杯の前に昨年6月に逝去された同士・曾慶 健さんへ「黙祷」を捧げ、往時をしのびました。曾慶さんは、中学・高校・大学をスキー部で活躍された当時の勇士を池上さん・キャプテン・進藤さんが面々と語られ、故人の話は

尽きませんでした。

今回、横山 仁様(札幌同期会幹事)から、故 曾慶 健さんとの回想録(北中、高校、大学の同期生)がよせられ、ホクテン会の仲間と一緒故人を語り合うことができました。また、去年(11月)の札幌同期会の様子を「ビデオ収録」と「集合写真」(北海の現状等をホクテン会全員分、送って戴きました。ホクテン会の話が当時の「平岸時代」へなつかしく思い出してくれるツールを有難く感謝いたします。

## 道南支部

平成28年度道南支部総会・懇親会を平成28年11月12日(土)函館市千代台「寿」のます屋で開催いたしました。当日は「多忙のところ校友会 金井会長、野村副会長、平成29年度校友の集い担当役員 館山さん(37期)にご出席いただき、校友会の近況、活動状況等についてお話を頂きました。また、平成29



年度校友の集い当番期の高校37期の館山さんからPRもしていただきました。道南支部会員も高2期から高56期までのご出席をいただき、例年同様、校歌&応援歌をBGMに、懇親を大いに深めることが出来ました。当日ご参加いただいた校友会役員の皆様、29年度校友の集い当番期担当役員の皆様、そして道南支部会員の皆様にご感謝申し上げます。

平成29年は、道南支部にて2月25日(土)に新年会(函館もつ将)7月29日(土)にビール会ホテルテトラビアガーデンにて開催させていただきます。

平成29年度も11月11日(土)18時〜函館市五稜郭町「天金」に於いて開催いたします。今後は道南支部役員及び会員全員で、盛り上げていきたいと思っております。宜しくお願いいたします。

支部長 室田 幸治

## 高校23期同期会 開催「約束の日」



平成29年8月18日(金)札幌パークホテル18時開催  
5年前の同期会還暦の祝う会で5年後65歳で開催を

約束させていただきました。当日は同期49名と来賓に早川 平先生、保原 東郎先生にお越しいただきました。保原先生の挨拶冒頭「私はあなた方の先輩で高13期である事を忘れてないでほしい」と元気な75歳の先輩としてご挨拶いただきました。出席いただきなかつた杉本元校長からも暖かいメッセージもいただきました。司会は校友会当番期から不動の長谷川 克之副会長が期待を裏切らない進行をしていただきました。祝杯は今年もわざわざ東京から来てくれました小泉 広治応援団長から挨拶をいただき宴会に入りました。各クラスや部活代表からも懐かしい

話やら近況報告をいただいた後、恒例の応援歌は眞正智代志リーダー長にエールを切ってもらいました。着ていたスーツが少し大きめだったのは今年し逝去した仲間の形見分けだったと上着の裏に鈴木亨この文字を見せてもらいました。

その後、校歌斉唱はもちろん小泉応援団長の下全員肩を組んで斉唱、日本の北海道高等学校校歌斉唱でした。裏番顧問の大西 善範節も衰えを知らず最後は幹事長の阿部 典夫に立派な挨拶で締めたいいただき同すすきのへ消えて行きました。本当に北海健児でよかったと思えた1日でした。皆ありがとう！次回案内は5年後70歳古希を祝う会まで姿形が変わっても元気に生きてくれ。

高校23期同期会  
会長 中目 明德

## オホーツク支部



紅葉深まる10月14日(土)18時00分より、我々の会員が経営している「肉のなごみ」で北海道高校の山崎校長はじめ校友会金井会長、野村組織強化部長と柳沢十勝支部長の4名のご来賓をお迎えし平成29年度オホーツク支部総会・懇親会を開催いたしました。

総会では、北海道高校の山崎校長からのご挨拶があり、昨年度の行事、会計報告と続き校友会のさらなる発展を確信いたしました。その後、佐藤副支部長の乾杯により親睦と交流深め、スピーチで近況を伝え和やかに旧交を温め全員でスクラムを組んで校歌を声高らかに歌いました。最後に北海道高校の長い歴史と伝統に培われた精神を繋いで行きたいと思っております。その後全員で2次会を楽しみました。

当日、参加者は16名でしたが、不参加のオホーツク支部の校友の皆様次回はよろしくお申し込みをお願いします。

北海道高校ならびに校友会本部と十勝支部よりご参加いただきお心遣い感謝申し上げます。

幹事長 片山 勝文

## 北海親遊会 (高校16期)



高校16期同期会「獅子の会」が平成24年に解散になり、新しい仲間と遊べる人だけ集まる「じやないか」と言う事になり、平成25年4月に発足した所、28名の方が賛同して下さり毎月1回は集まってやろ(じやないか)と毎月「ゴルフ・飲食・麻雀」等をごれか1つ必ず開催しており、コミュニケーションが取れて仲良くやっております。又、年度は(4月〜3月の1年間)で4月には総会が有り、前年度の実績表の反省と今年度の年間スケジュールを皆で取り決めてスタートします。この会は非常に楽しい会で有り、全員で楽しんでおります。写真は平成29年度の総会の集まりです。

北海親遊会 幹事

## 第30回 江別支部 総会及び懇親会開催



今年には節目の記念すべき30回目の開催を6月17日(土)毎年行われているレス「トラン」おおいにて開催、今年には山崎校長先生、校友会本部からは金井会長と野村副会長、東京支部からは柳

支部長にご出席頂きました。総勢31名(当初予定34名)その内3名が女性で江別支部では初めての女性参加の宴会となりました。

最初にこの「おおい」の経営者の大江大先輩が昨年の暮れにご逝去されそれと同時に過去に亡くなられた方々へ黙祷をし、そして28年度の決算報告、29年度予算報告が承認され、全国支部長会議での組織変更事項等報告され総会は終了。そして山崎校長先生による学校の現状等のお話を頂き、又、校友会長の金井会長からも校友の現状等のお話を頂きました。そして井上先輩(高校4期)の首頭で乾杯し懇親会に入り、野村副会長のお話や東京支部柳支部長からは東京支部の活動についてお話を頂き、又、今回初参加の8名の自己紹介や名刺交換など今迄にない賑やかさでした。その後毎年恒例のビンゴゲーム(今年の景品も奮発し又、会員の郷先輩からも景

品を頂き景品は山盛りで最高潮に盛り上がり楽しく過ごしました。皆さん日々今年の景品は袋も大きく重たいと言って大変喜んでました。

最後は応援団OB会の幹事長である野村(31期)氏によるエールで応援歌・校歌を斉唱し、高6期の田原先輩の締め首頭で来年も元気で再開しようとお話されました。今年も2時間半の予定でしたが時間が足りなくて急ぎ早の進行で皆さんは来年も是非参加をしたいと思います。散会となり、若手のメンバーは2次会に繰り出して行きました。

山崎校長先生をはじめ来賓の皆様には本当にご出席頂き有難う御座りました。お陰さまで非常に盛り上がりました来年も是非参加宜しくお願いします。来年の参加は50名を目標に幹事頑張ってます。

支部長 長 光雄(高校16期)

## 後志支部

北海道校友会後志支部は、校友会本部様からのご支援の下、設立2年目に入りました。会員数も前田利幸支部長(高校26期)以下、現在22名と徐々に勢力を拡大しております。

今年度は3月の定期総会を皮切りに、4月には岩内地区懇親会を開催し会員間の親睦を深めております。

又、当支部は母校北海の発展に寄与する他、後志地域の活性化についても推進しており、観光マップの作成やフィッシングクラブ設立への立案、台風被害地域への寄付金贈呈など様々な活動を行っております。



今後は会員間の親睦・意思疎通を更に深め、会員各自「北海道魂」を胸に秘めつつ「北海健児」として何が出来るか、何をすべきか」を追求し活動していく方針です。

後志支部 幹事長 澤 崇之(高校40期)



### 創立90周年の年 29年度 ホッケー部OB会総会



平成29年度の総会が4月23日ホテルポールスタール札幌にて開催しました。まず初めに過去に亡くなられた先輩方々に対して黙祷をし、そして林会長(14期)より今年ホッケー部が校友会の支部として会員になった事、支部の旗を校友会から頂いた事、今年度はホッケー部創立90周年を迎える事、まだ現

役が休部(3年)状態がまだ続いている事、OBとしては現役の復帰を希望し活動をさらに進めて行く事などをお話されました。そして28年度の収支決算報告と29年度の予算報告が承認され、創立90周年を今年開催するかどうか議論し、全員の採決で11月に開催する事で決定し総会は終了致しました。勇崎(11期)先輩の音頭で乾杯し懇親会に入りました。懇親会ではやはり現役復帰の話が話題に上り、なんとでもホッケー部を復帰させようとして皆さん行き込んでいました。あとは90周年の話や最近の状況などで先輩と後輩との交流を計りながら酒を飲み交わし、歓談している内に2時間が終了致しました。最後に平木副会長(13期)の締め音頭で、今年秋の90周年で会いましょうとお話され散会となりました。

副会長 長 光雄(高校16期)

### 平成28年度 小樽支部総会



平成29年1月21日(土)市内飲食店において、平成28年度 北海校友会小樽支部総会・懇親会を開催いたしました。

校友会からは、金井会長、

二瓶副会長にご参加をいただき、校友会の活動報告や平成29年度 校友の集いについての説明を受け、改めて「北海校友会」の絆の深さを感じさせられました。小樽支部の参加者は、種々の事情により欠席せざるを得ない会員がいたことから少数となりましたが、今後の校友会発展と小樽支部発展に向けて、卒業期を問わず、熱い語りとなりました。

総会月が1月ということもあり、何かと多様な時期となりますが、今年度の開催につきましては、一人でも多くの会員が参加していただけてますよう努力してまいります。小樽支部 瀬川 聖司(高校35期)

### 恵庭支部



皆さん、こんにちは！北海道恵庭支部です。支部創設は、昭和60年に故福屋修三初代支部長(8代目校友会会長)のもとに発足いたしました。恵庭市は札幌駅から電車で約25分と我が北海道域の利もあり、数多くのOBを輩出しております。毎年、支部総会を開催してはおりますが、ここ数年は出席者が少なく苦慮して

おりますが、これまで支部が存続してこられた背景には、北海道野球部と市内に苦小牧工業高校のOBが多いことから、苦小牧工業、地元の恵庭南高校、恵庭北高校、4校による「親善野球大会」を支部事業として継続して開催していることとと考えております。今では31回を数え、野球部員に「恵庭大会」と名付けられる大会と成長し、恵庭市長にも開会式でご挨拶、始球式の対応をいただき、また恵庭軟式野球連盟にも審判員の派遣などでご支援をいただいているところであります。開催には、市内企業の協賛や支部会員が経費を負担し、試合後に北海球児に焼肉をご馳走するなど、子ども達も楽しみにしている新人戦前の有意義な大会であります。関係する皆さんに感謝、感謝であります。さて、申し遅れましたが、わたくし高校24期の三和清春と申します。初代福屋修三先輩、2代目溝口安則先輩の後

### 東京支部総会・懇親会 テーマ「絆と友愛」



平成29年10月7日(土)16時よりテイキエキ新宿店にてOB・OG90名の校友の皆様が盛大に開催する事ができました。

ご出席頂いた皆様へ心からお礼申し上げます。校友会本部第10代金井会長・北海高校山崎校長・校友会野村副会長・組織強化部大友氏・元教諭横山先生・西日本支部土岐支部長・東北支部小寺支部長・132回校友の集い実行委員長 植木・133回実行委員長 神様をお迎えして皆様からご挨拶を頂きました。36期八矢幹事の司会で総会を開催、懇

### 親会司会43期阿部幹事・55期阿田 愛幹事・59期佐々木理江子幹事30期国沢副支部長

の挨拶でスタート、13期、69期全員が高校生に戻りつになり過ごした楽しい3時間でした。別れを惜しみながら35期高田事務局長のリードで声高らかに応援歌No.1 校歌斉唱を致しました。30期中副支部長の「また、来年会いましょう、ありがとうございました」との言葉で閉会致しました。

来年度の東京支部総会&懇親会に向けて東京支部幹事一同、活動して参りますので校友の皆様にご協力を宜しくお願い申し上げます。東京支部幹事同

### 高校10期会 喜寿を祝って 老いて益々頑張ろう

平成28年11月24日(木)札幌ガーデンパレスで5回目の同期会を開催、19人が出席、初めて参加したのが新妻八郎君、2年ぶりに成田勝利君、柳谷 正徳君の出席を得ました。三ツ野 庄治君の司会により、幹事長 宮坂明由君からの開会宣言、そして昨年より3人多い、73人の物故者に対する黙祷の後、武市芳清会長の挨拶、岡田 武義君の発生で開宴。その後恒例の参加者全員からの近況報告、次回の幹事10名を選出。締め乾杯は成田 勝利君といった流れで、いつものように時間オーバーの楽しい賑やかな同期会であった。なお、これまで来賓として



※三ツ野庄治  
※宮坂明由・柳谷正徳・八巻尚俱・※横山 仁・吉田伸二・米谷 実  
(幹事長 宮坂明由)

### 平成29年度 十勝支部総会



今年度の十勝支部総会は6月30日に例年通り市内のホテルにて開催されました。十勝支部の皆様とは12月の忘年会、そして定期総会の年2回集まっております。今年も校友会本部からは金井会長はじめ野村副会長、そして

を受け、本年に支部長に就任となりました。金も力もない私ですが、支部の強化に努力してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

### 西日本支部



平成29年7月1日、西日本支部総会及び懇親会を無事開催出来ました。御来賓は、山崎校長先生を始め北海校友会金井会長、野村副会長、高田東京支部事務局長に駆けつけて頂きました。西日本支部会員の出席者は昨年の反省を踏まえ、と呼び掛けました。5名に留まりました。しかし昨年

の夏の甲子園野球大会に於いて準優勝と言う偉業を遂げたことも有り総会及び懇親会では話が盛り上がりました。金井会長から新支部の設立状況及び活動状況、今年度の予定などを伺い校友会全体の活性化を感じ我々も喜んでいく次第です。西日本支部の活動と言えは甲子園野球大会出場の時にお手伝いさせて頂く事が主になります。5月に行われます支部長会、総会に向けて事前打ち合わせを行う程度でした。高齢化も進み活発な活動できませんが幹事に新しく1名加わった事で地道に名簿を整理し、呼び掛けを行い校友会活性化のため、協調する事ができると確認し合いました。継続強化実行。





北海道立旭川高等学校26期同期会

**高校26期**  
 去る9月30日(土)我々の後輩が数名勤務するホテルノースステイにて、北海道立旭川高等学校



北海道立旭川高等学校校友会旭川支部総会

**旭川支部**

校友会旭川支部の総会を9月9日 旭川の天金本店で17名の参加で開催致しました。今回も、金井会長・山崎校長・柳沢十勝支部長等多くの出席を頂きました。金井会長より、高齢化により参加者が激減している支部や再結成した支部又、若い会員に呼びかけて活性化出来ている支部のお話を頂き、山崎校長より各部活の近況報告もあり運動部に限らず文化部も優秀な成績を修めているとの事でした。柳沢支部長も若い人々に声掛けして少しでも多くの会員に参加してもらおうと努力をしていくとの事でした。懇親会で皆さんが盛り上がったところで恒例の「北海ダービー」を開催さらに大きな盛り上がりを見せていました。最後に応援歌・校歌斉唱で閉会致しました。次回も、よろしくお願ひ致します。

幹事 大物久夫

26期会の総会・懇親会を開催しました。今年、当時の担任教師である保原先生・横山先生・安井先生・本藤先生・岩間先生が、大変お忙しい中、ご出席を頂き総勢54名の参加となりました。

総会の開催に先立ち、北海道校友の物故者に対し黙祷を捧げた後、挨拶に立った北海道校友会の会長でもある26期会会長 金井重雄君から、現在の北海道立旭川校友会及び26期会の近況や今後に対する熱い思いが語られ、総会では28年度の事業報告・決算及び29年度の事業計画・予算が承認され、また26期会創立時から事務局長を務めた遠藤久君の退任に伴う役員改選が行われ、新たに内藤直幸君が事務局長に就任しました。

宴会は、安井先生の軽妙なトークと乾杯のご発声により始まり、いつものことながら高校3年間の様々な思い出話や近況など、北海の仲間だからこその言えるようなヤバイ話も入り混じって大笑。特に今年「卒業以来何十年ぶり？」と言う参加者が数名いて、自己紹介で名前を聞いて「あーおまえか」という場面もあり、あつという間の2時間でした。最後に岩間先生から締めのご発声を頂き、元応援団による校歌斉唱・ツールで、来年の再会を約束して閉会となりました。

本元大造君をはじめとする8組の幹事の皆様、大変ありがとうございました。

高校26期 事務局長

**校友の動向**

**北海校校友会に参加して**

高校59期卒業 佐々木 理江子



高校卒業後に本校の

校友の集いの案内状を頂き、初めは参加を躊躇しました。しかし、ずっと札幌に住んでいる祖母からのあるアドバイスを受けて参加を決意しました。北海高校は縦の繋がりが強いから、行っておいた方がいい!初回に

して単独で参加した私には知人もおらず、正直なところ、お世話になった先生方とお話することしかできませんでしたが、方で出席者数の多さに驚いたことは記憶しております。

就職と同時に上京してからは東京支部の存在を知らず、暫く校友会との繋がりはありませんでした。しかし数年前にご縁があり、再度校友会との繋がりを持てました。その後、恐れ多くも幹事の一員としてお手伝

初参加には勇気がいるかもしれませんが、是非度校友会に参加してみてください!

**「よく頑張った」を胸に**

株式会社デイベス グラフィックデザイナー  
 高校55期卒業 小上 同



高校1年生、成績は平均以下クラス。苦手な科目が多かった私は、試験では赤点の常連でした。ある試験の時、当時教科担任だった松竹谷先生はギリギリ赤点を免れただけの私に「よく頑張った」と満面の笑みで答

案用紙を渡してくださいました。その「よく頑張った」と先生の笑顔は私に強く刺さり、その言葉にもっと応えようと、懸命に勉強に励むようになりました。

その後、勉強が好きになり、成績も上がり、推薦枠から北海学園へ入学することができました。

私は現在、札幌の広告制作会社にデザイナーとして勤務し、様々な業種のお客様とともに、

この先も、人の笑顔を創れるようなデザイナーを目指し、「よく頑張った」を胸に、努力していきたいと思ひます。

**叙勲受章者**

高校3期 前川 邦夫

平成28年11月3日  
 瑞宝小綬章 教育功勞



**創立133周年記念  
 2018年 北海道立旭川高等学校の集い**

- 開催日 / 平成30年5月25日(金)
- 会場 / 札幌パークホテル
- 会費 / 7,000円  
 北海OG4,000円  
 高校58期以降5,000円
- 幹事 / 高校38期実行委員会



## 北海校校友会2017(平成29年度)活動経過報告

- |         |   |           |                             |
|---------|---|-----------|-----------------------------|
| 【平成29年】 | 7月 4日   | 第3回 常任委員会 |                             |
| 4月 6日   | 第1回 常任委員会   | 7月 6日     | 第1回 財政部会議                   |
| 4月 9日   | 北海高等学校入学式   | 7月21日     | 恵庭支部 総会・懇親会                 |
| 4月10日   | 北海学園札幌高等学校入学式<br>(会長出席)   | 9月 7日     | 第2回 広報・名簿部会議                |
| 4月11日   | 第1回 広報・名簿部会   | 9月 9日     | 旭川支部 総会・懇親会                 |
| 4月17日   | 会計監査  | 9月13日     | 第4回 常任委員会                   |
| 4月20日   | 第1回 財政部会  | 10月 7日    | 東京支部 総会・懇親会                 |
| 4月25日   | 第2回 常任委員会   | 10月11日    | 校友会と38期実行委員会の<br>合同打合せ      |
| 5月10日   | 第1回 幹事会<br>(ホテルポールスター札幌)  | 10月14日    | オホーツク支部 総会・懇親会              |
| 5月15日   | 校友会奨学金運営委員会   | 10月20日    | 校友の集い監査                     |
| 5月26日   | 校友会総会・校友の集い<br>(当番期 高校37期)<br>札幌パークホテルにて全国各<br>地より約446名の校友が集まり<br>盛大に行われた | 11月 7日    | 第4回 広報・名簿部会(予定)             |
| 6月10日   | 十勝支部 総会・懇親会   | 11月11日    | 道南支部 総会・懇親会                 |
| 6月17日   | 校友会奨学生認証式<br>(北海高等学校)15名  | 11月25日    | 東北支部 総会・懇親会                 |
| 6月 1日   | 江別支部 総会・懇親会   | 12月12日    | 第5回 常任委員会(予定)               |
| 6月24日   | 北海学園札幌高等学校同窓会<br>(金井会長出席)   | 12月21日    | 写真部 校友会最優秀賞<br>表彰記念品授与式(予定) |
| 6月27日   | 第1回 組織強化部   | 【平成30年】   |                             |
| 7月 1日   | 西日本支部 総会・懇親会  | 2月28日     | 校友会入会式(高校69期生)(予定)          |
|         |   | 3月 1日     | 第69回卒業証書授与式(予定)             |
|         |   | 3月27日     | 第2回 幹事会<br>(ホテルポールスター札幌)    |
|         |   | 2月        | 第6回 常任委員会(予定)               |
|         |   | 2月        | 第5回 広報・名簿部会議(予定)            |



**横浜DeNAベイスターズ3位指名**  
 北海高校硬式野球部 投手/阪口 皓亮(3年)  
 (ドラフト会議 2017年10月26日)

### 186cmの長身からスピンの効いた ストレートを投げ込む大型右腕

北海38度目・夏の甲子園大会では最速148キロの速球をマークし、プロのスカウトの目に止まる。この大舞台で、自己最高のパフォーマンスを見せる辺りはプロで十分に通用する要素を持った逸材である。

高卒プロは、1977年ロッテに指名された高校30期「佐藤 兼伊知 氏」= (現・千葉ロッテマリーンズコーチ)以来40年ぶりのことで、高校70期「阪口くん」の活躍も期待したい。

校友会広報・名簿部 清川 澄人



**ドラフト会議 2017**  
**更なる高みを目指し、憧れのプロへ!**

- |      |      |       |       |      |      |      |      |      |      |      |     |   |
|------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|-----|---|
| ▼11組 | ▼10組 | ▼9組   | ▼8組   | ▼7組  | ◎西6組 | ◎藤5組 | ▼阪4組 | ◎森3組 | ▼吉2組 | ◎澤1組 | ◎1組 | <b>【平成29年度】<br/>                 高校第69期<br/>                 校友会クラス幹事</b> |
| 神田知哉 | 鈴木大河 | 石岡大雅  | 伊藤昂   | 神田宗朗 | 西崎飛鳥 | 藤田奈奈 | 阪東幸星 | 森山空  | 吉田和史 | 澤田彩加 | 1組  |   |
| 石谷優衣 | 長船瑠美 | 佐々木慧都 | 村瀬このか | 永井美咲 | 種市愛弓 | 吉田拓斗 | 小野日向 | 北村美佳 | 山田舞  | 佐藤大介 | 2組  |   |

北海校校友会公式  
 face book 更新中



## 平成29年度 校友会事務局の皆様紹介

- |   |   |
|---|---|
| <br>北海校校友会事務局<br>事務局長<br><b>長谷川 諭</b><br>(北海高等学校教諭)<br>●陸上競技部顧問<br>●保健体育科 教諭<br>●卒業46期          | <br>北海校校友会事務局<br>油谷 哲郎<br>(北海高等学校教諭)<br>●女子バレーボール部顧問<br>●社会科 教諭<br>●卒業47期         |
| <br>北海校校友会事務局<br>事務局長次長<br><b>金村 周一</b><br>(北海高等学校事務長)<br>●人事・学校予算・入試業務他<br>●校友会事務局次長<br>(業務全般) | <br>北海校校友会事務局<br>宮本 嘉秀<br>(北海高等学校主任)<br>●授業料・就学支援金・<br>学校予算・施設管轄他<br>●校友会事務局 会計担当 |

### 校友会をお手伝い いただいている皆様

- |  |  |
|--|--|
| <br>北海高等学校事務局<br>(北海高等学校実験助手)<br><b>田中 奨太さん</b><br>●印刷業務・<br>理科実験助手 他              | <br>北海高等学校事務局<br>(北海高等学校用務員)<br><b>坂口 浩治さん</b><br>●施設管轄 他                  |
| <br>4月より新メンバー<br>北海高等学校事務局<br>(北海高等学校主任)<br><b>引谷 俊彦さん</b><br>●PTA・生徒会担当<br>国際交流 他 | <br>4月より新メンバー<br>北海高等学校事務局<br>(北海高等学校書記)<br><b>奥村 晃さん</b><br>●奨学金・学校会計担当 他 |

- 北海高等学校事務局  
 (北海高等学校事務員)  
**西田 優美さん**  
 ●各種証明書発行・来客接待他  
 ●校友会お手伝い  
 名簿の整理・物故者の対応・  
 郵送物の手配